

日本学術振興会ワシントン研究連絡センター

大統領府、プレジジョン・メディスン・イニシアティブの詳細を発表（1月30日）

大統領府は1月30日、一般教書演説の中でオバマ大統領が発表した「プレジジョン・メディスン・イニシアティブ（Precision Medicine Initiative）」に関する詳細を明らかにした。プレジジョン・メディスンは、これまで平均的な患者向けにデザインされていた治療を、遺伝子、環境、ライフスタイルに関する個々人の違いを考慮した予防や治療を確立するもの。

本イニシアティブに対し、大統領は2016年度予算案で2億1,500万ドルを要求しており、内訳は、100万人以上のボランティアが参加する研究コホート開発費として国立衛生研究所（National Institutes of Health：NIH）に1億3,000万ドル、がん発症の原因となる遺伝子特定の取り組み拡大のためにNIH傘下の国立がん研究所（National Cancer Institute：NCI）に7,000万ドル、プレジジョン・メディスンにおけるイノベーション促進に必要な規制構造を支援するデータベース開発促進と専門性獲得のために食品医薬局（Food and Drug Administration：FDA）に1,000万ドルなどとなっている。

なお、同イニシアティブの目的は以下の通り。

- ・ がん治療の拡大・改善
- ・ 任意による米国の研究コホート作成
- ・ プライバシー保護の確保
- ・ 現状に合わせた規則修正
- ・ 官民パートナーシップの拡大

The White House, FACT SHEET: President Obama's Precision Medicine Initiative

<http://www.whitehouse.gov/the-press-office/2015/01/30/fact-sheet-president-obama-s-precision-medicine-initiative>